

令和3年度「相双方部出張型政策研究会」実施概要

ウィズコロナ・アフターコロナ時代における
「人材確保・移住促進対策」及び「交流人口拡大対策」について考える

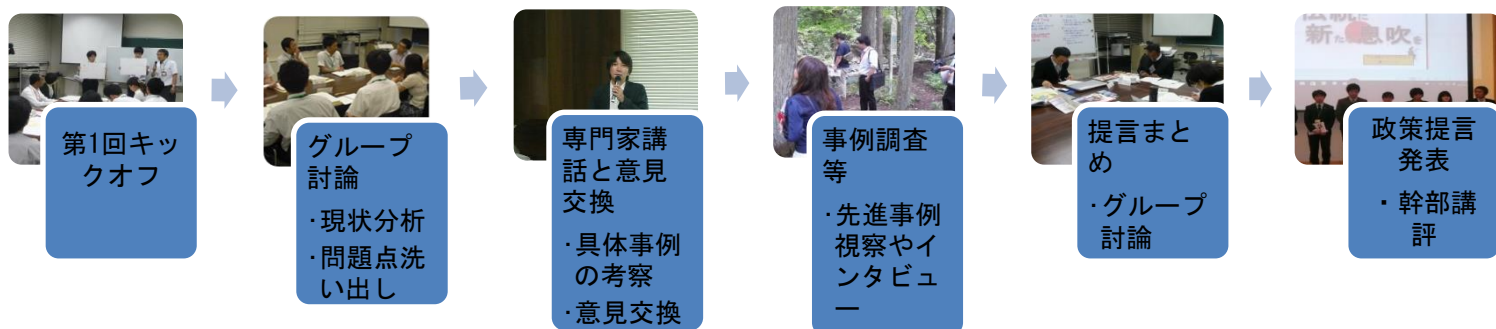


【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- センターから遠くても大丈夫。相双方部での出張開催！
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 自治体の枠を超えた広い視野の形成及び多様なコミュニケーション機会
- 月1回、通常業務を離れてじっくり探究、深まる議論と仲間との絆



【政策提言までの主な流れ】



【テーマ設定の背景と研究成果の期待】

東日本大震災以降、生産年齢人口の帰還が進まないことによる労働力不足、子育て世代の帰還が進まないことによる児童・生徒数の減少等、少子高齢化によって、交通弱者の増加や担い手不足、社会インフラ維持の負担増などの様々な課題が生じており、今後ますます課題への対応が迫られる状況となることが予想されます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントをはじめとした交流事業の中止や延期が相次いでおり、オンラインを活用したイベント開催や非対面の交流等、ウィズコロナ・アフターコロナ時代においても企業活動や地域活性化を積極的に行うことが可能となる新たな交流の在り方について検討する事が必要となっています。

そこで、本研究会では、自治体職員のスキルアップを図るため、政策形成のプロセスや手法の習得について学ぶとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代において相双地域を活性化し、復興を促進するための「人材確保・移住促進対策」及び「交流人口拡大対策」の在り方について研究し、政策を提言することを目標に活動します。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

知識・理解を深める、現状を把握する

(6月～7月)

第1回 6月24日(木) 13:00～16:30 キックオフ勉強会、体験WS

開催場所：相双地方振興局管内

あいさつ：相双地方振興局長、センター所長

基調講演：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

演題：未定(仮)

ワークショップ

コーディネーター：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・オープニングガイダンス
・専門家による理論講義、事例紹介

第2回 (7月中旬) 相双地域の現状と課題分析

開催場所：相双地域のいずれかの市町村(以下、記載のない場合は同じ)

<内容> ・グループワーク(現状の把握と課題の洗い出し)
・研究テーマの決定

第3回 (8月中旬) 関係者へのヒアリング

開催場所：相双地域等

<内容> ・フィールドワーク(仮説の検証)

第4回 (9月) 勉強会

<内容> ・フィールドワークの結果まとめ
・専門家を交えた勉強会
・参考事例の収集、先進地視察先の検討

第5回 (10月) 先進事例、参考事例自治体調査

開催場所：ヒアリング先

<内容> ・先進地視察、参考事例の自治体等よりヒアリング調査

第6回 (11月) 研究員GW

<内容> ・先進事例等結果考察、提言まとめへ向けたGW

第7回 (12月上旬) 研究員GW

<内容> ・提言まとめ

第8回 (1月上旬) 研究員GW

<内容> ・提言仕上げ

報告会 (1月下旬～2月上旬)

開催場所：相双地方振興局管内

・研究成果の報告会、幹部職員等による講評

調べる
考える
(課題への取り組み方向性検討)

(8月～11月)

まとめる、提言する
(提言書作成)

(12～2月)